

# 授業科目 福祉用具学 III (福祉住環境)

【担当教員名】 笹本 嘉朝、非常勤講師	対象学年	3	対象学科	義肢	
	開講時期	前期	必修選択	必修	
	単位数	1	時間数	15	
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	◎	○			
【概要・一般目標：G10】 少子高齢化が進んでいるわが国では福祉・介護の問題は深刻化している。しかしながら高齢者や障害者に対する在宅介護の増加、バリアフリー住宅のニーズの高まりにより福祉住環境へ介入する機会が増加している。今後さらに必要性の高まっていく福祉住環境の専門家である福祉住環境コーディネーター3級及び2級の資格取得に向けて、福祉住環境の基礎を修得する。					
【学習目標・行動目標：SBO】 1. 本科目の概要と成績に関する評価方法を理解している。 2. 高齢者や障害者の疾患と障害特性について説明できる。 3. 介護保険制度における住環境整備について説明できる。 4. 福祉住環境コーディネーターの意義について説明できる。 5. 法制度とバリアフリーについて理解している。 6. 福祉住環境と福祉機器・用具の関わり及び事例について理解している。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	ガイダンス、福祉用具学 III の概要			1	講義
2	高齢者や障害者の疾患と障害特性			2	講義
3	わが国における法制度と住宅改修			3	講義
4	福祉住環境コーディネーターの役割と機能			4	講義
5	建築基準法とバリアフリー対策			5	講義
6	福祉住環境整備の共通基本技術			6	講義
7	福祉住環境整備の実践に必要な基礎知識			3. 4. 6	講義
8	まとめ				
【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>	
教科書 (必ず購入する書籍)	福祉住環境コーディネーター2級 短期合格 テキスト	渡辺 光子	日本能率協会マネジメントセンター	2012・2,200円+税	
参考書	福祉住環境コーディネーター検定試験2級 公式テキスト改訂版	東京商工会議所 編		2011・4,500円+税	
	福祉住環境コーディネーター3級 短期合格 テキスト	渡辺 光子	日本能率協会マネジメントセンター	2012・1,600円+税	
その他の資料	適宜プリント配布				
【評価方法】 最終試験 100%		【履修上の留意点】 本科目は福祉用具演習 III と併行して行う。 福祉住環境コーディネーター3・2級資格試験に関わる必修科目である。			